



いこまういふ

…ココロとカラダに彩りを…



Vol.19
2022
4・5月

高齢者 ドライバー

高齢者ドライバーの事故が
ニュースで話題になることが多
くなりました。19年には全体の
事故のうち約18%が高齢者ド
ライバーによるものになってい
ます。高齢者ドライバーによる
事故は今や社会問題です。

事故要因1位は「発見の遅れ」
です。これは高齢者ドライバー
全体の事故要因の83.4%も占
めています。その他に判断の誤
り、操作上の誤りがあります。

「発見の遅れ」を起こしやすい
原因として、視力の低下、注意
力、集中力の低下、瞬発力の低
下が一般的な原因と考えます。

自動車安全運転センターの調
べでは、高齢者の約9割は「安
全運転」や「平均的な運転」をし
ていると自己評価していますが、
現実には追い越し時に事故に遭
いかけた経験のある高齢者が約
2〜3割いるなど、自己評価と
現実にズレが生じています。

加齢により、自分でも気づか
ない内に身体能力は低下してい
ます。「今まで事故を起こした
ことがないから大丈夫」という
過信は禁物です。

高齢者ドライバーのための 安全運転アドバイス

家族に高齢者のドライバーがいる場合は、安全のために声掛けをしましょう

01 雨の日や日没後は運転を避ける

02 体調がいつもと
違うと感じたら運転を控える

03 出発前に道順を確認する
交通量の多い道はなるべく避ける

04 周囲の状況を常に確認する
同乗者も一緒に周りを見るようにする

05 70歳以上の場合は
高齢運転者標識を付ける

参考：https://www.ms-ins.com/special/rm_car/

年齢を重ねれば、誰でもいつかは安全運転が難しくなるものです。
いくら運転を気を付けていても、免許証の返納など
運転をやめる決断が必要になるときが必ず来ます。
安全な運転ができていないと思われる場合には、運転をする人の命を
守るために勇気を持って免許証の返納・提案をしましょう。



警視庁のホームページには「運転時認知障害早期発見チェックリスト30」が
掲載されていますので、ぜひ参考にしてみてください。

72歳以上のドライバーの方は要注意！

令和4年5月13日から
認知機能検査と
高齢者講習の
内容が変更されます

75歳以上かつ過去3年以内に、一定の交通違反があった高齢ドライバーに
対して実技検査（運転技能検査）が導入されることになりました。
運転技能検査は更新期間中であれば、何度でも受けることができますが
合格しなかった場合は運転免許証を更新することができなくなります。
なお、運転技能検査の対象外の方は高齢者講習の受講が必須となります。

詳しくは警視庁又は、静岡県警察のホームページをご覧ください。